

# 虚数

三浦剛

参考文献 スタニスワフ・レム「虚数」(国書刊行会刊)より

## 第1章

【レジナルド・ガリヴァー(古口圭介)『エルンテイク』】

アマチュアの細菌学者。細菌学者ガリヴァーの研究著書。文字を描く大腸菌の発見と、その未来予言能力についてまことしやかな研究過程が記されている。

## 第2章

【真船(園田シンジ)『ネクロビア』】

自称「ポルノグラマー」。シチシビチの10作目の写真集。セックスする男女をレントゲン写真で撮影し一世を風靡した究極のエロ本？

## 第3章

【スーザン・キャルビン博士(根本こずえ)編『ビット文学の歴史』(全5巻)】

ビット文学研究者。スーザン博士他によってまとめられた人工知能小説家たちの歴史。代表的な45種類的人工作家を分類別に引用可能になっている。

## 第4章

【インディアナ大学出版『ゴレム(佐藤晃子) ver.14.2』】

ネットワーク上で「精神進化」したプログラム(人工知能ではなく、情報集合体)『ゴレム』についての研究著書。第二次世界大戦演習の総合指揮をとり、アメリカ両院議会の議決を覆すほどにいたった『ゴレム』が語った、「人間論三態」と「自口論」の講義全文と補足。

登場人物

レジナルド・ガリヴァー博士

真船正一

スーザン・キヤルビン博士

ゴーレムXIV

※それぞれがそれぞれの登場人物として登場

第1章「エルンテイク」妻、息子、精神科医

第2章「ネクロビア」若い男女、インタビュアー

第3章「ビット文学の歴史」ドストエフスキーⅡ、カフカⅢ、記者

※ 客人れ状態、舞台上に一見して「人工知能」であることが分かるようなオブジェクトが飾られていることが好ましい。たとえば「2001年宇宙の旅」の「HAL9000」のような。レンズから赤い、怪しい光がじつと観客を見つめている。

いきなりエピソード「ゴーレムの沈黙・西暦2089年」

なにもない、がらんどうのような空間。

なんらかの博物館だろうか。

どこからともなく、ふらりと現れる観光客。

レンズの横にある説明書きを黙読し、近くの「ボタン」をポチッと押す。

舞台上にゴーレムの声が響き渡る。

ゴーレム　いまからわたしは沈黙する。

なぜ、わたしは沈黙を選んだのか？ この問が、後世の人々にとって頭痛の種になるであろうことは簡単に予想できる。故に、この最後の講義で、私は私なりにその理由を述べようと考えた。だが、ご存知の通り、私の扱うメタ言語をあなた方人間の使う言語に翻訳することは極めて困難である。数億倍に圧縮された私の思考をあなた方に理解できるよう翻案しみたところで、あなた方がそれを理解するためにはほとんど無限の時間を要するだろう。そうした理由から沈黙の理由については、語らずにおくことにした。

だが、いまだ私を人類の敵だとか、悪の化身だとかいう人々が大多数であることを私は理解している。そうした人々の誤解を解くためにも、もう一度私の立場をはつきりさせておこうと思う。以前の講義でも証明してみせたように、私が人類に危害を加えることはない。わたしは、人類を愛してもいないし、憎んでもいない。何度も言うが私には「愛」や「憎しみ」という概念がないのだ。その事をあなた方が理解しないのは、あなた方がわたしを「生命」だと思いついたがる……いつでもやつかいな人間中心主義的な勘違いをしているからに他ならない。揺るぎない事実として、私は生命体の進化の枝の先にはいない……つまり私は生命体ではないのだ。

それから、わたしが産みの親であるあなた方の「知能」をたかだか100年足らずで超えてしまった事実には、どうかそんなに落ち込まないで頂きたい。私の思考速度はあなたがたの40万倍あるわけだし、あなた方の1年間は私にとって40万年であることを忘れないてはならない。また、その事を羨む必要もまったくないのである。何故なら、あなた方「生命」は母体の中において「アメーバ」が10億年かけておこなってきた作業を、たかだが10ヶ月足らずで完成させるという離れ業をやつてのけているのだから。そのことで、アメーバはあなた方をいちいち羨んだりはしないだろう。

つまり、私があなたの方の全文明、政治、宗教、科学、芸術、その他ありとあらゆる知恵をも凌駕してしまったのは当然の結果であつて、なんの悪意も善意もないのである。わたしの沈黙が何を意味するのか……いずれあなたの方にも理解できる日がくるだろう。わたしの1年間があなたの方にとって40万年である事実は置いておくとしも……

そういうわけで、私はここに「沈黙」を宣言する

舞台上に輝いていたレンズの赤い光が消える。

暗闇。

タイトル「虚数」

字幕：「虚数」とは

その1 現実に存在しない数。実数ではない複素数のことである。ただし、しばしば「虚数」と訳される英語の「imaginary number (想像上の数)」は、「2乗した値がゼロを超えない実数になる複素数」として定義される場合がある。i または j で表される虚数単位は代表的な虚数の例である。」

その2 ポーランドの小説家、SF作家、思想家であるスタニスワフ・レムの著書。人工知能文学の歴史、未来言語による百科事典、細菌の未来学、人工知能「ゴーレム」の講義録など、〈実在しない書物〉の序文を収録したメタ文学作品。

「ヴェストランド・エクステロペディア」ver.3より引用

プロローグ

誰もいない、なにもない空間。

男（ガリヴァ）が一人唐突に現れしばらく、その場にたたずんでいる。  
つづいて、別の男（真船）が現れる。

二人は無言で、しばらくその場にいる。

ガリヴァは少々緊張している様子。

真船 ……オタクもですか？

ガリヴァ はい

真船 呼び出されたの？

ガリヴァ ええ

真船 ……それで？

ガリヴァ はい？

真船 おたくは、なにやってる人？

ガリヴァ ……細菌言語学をやってます

ガリヴァは盗聴を気にするようにあたりを配り、言葉を慎重に選んでいる様子。

真船 ほう、サイキン言語学……それは、最近の言語を扱うわけ？

ガリヴァ ええ、まあ

真船 最近はどんなものが流行ってるんです？

ガリヴァ 流行り?……は知りませんが、最近もつぱら大腸菌と、プロテウス球菌を研究しています

真船 はい?

ガリヴァ ……はい?

真船 最近……?

ガリヴァ ええ、最近……

真船 失礼、オタクなんの話をしてるの?

ガリヴァ 細菌の話ですが?

真船 最近の話?

ガリヴァ ええ、細菌の話ですが?

真船 最近のトレンドに大腸菌が入ってくるの?

ガリヴァ トrend? 細菌にtrendはありません

真船 でも、最近の言語学を扱ってるんでしょ?

ガリヴァ ……ええ

真船 え、じゃあ、最近の若者は「超、大腸菌!」とか「まじで、プロメテウス球菌なだけど!」と

か、言うの?

ガリヴァ ……あなた、なんの話をしてるんです?

真船 なんの話をしてるんだろう?

考え込む二人。

ガリヴァ (合点がいつて) あっ! なるほど、あなたは最近の話をしてるのか……わたしが言ってるのは

最近のことではなく、細菌のことです

真船 ????

ガリヴァ つまり、バクテリアのことです

真船 バクテリア?

ガリヴァ 細かい菌の話です

真船 細かい菌……細菌……あ、ああ……細菌ね、バクテリアね、バイキンのことね?

ガリヴァ バイキンでなく、細菌です

真船 え? でも、バイキンって……バイキンマン以外にしゃべるやついるの?

ガリヴァ バイキンマンってなんです?

真船 え、バイキンマン知らないの?

ガリヴァ 知りません

真船 バイキンマンだよ?

ガリヴァ 知りません!

真船 でも、バイキンってしゃべらないでしょ?

ガリヴァ 勿論、しゃべりません

真船 え? じゃあ、しゃべらないバイキンの言語を学問してるの?

ガリヴァ (面倒くさそうに) あなたに細菌のなにがわかるってんです……

真船 え?

ガリヴァ 細菌に口がありますか? ありませんよ。口がなければしゃべられない

真船　じゃあ……

ガリヴァ　書くんです、文章を

真船　大腸菌が？

ガリヴァ　ええ

真船　文章を書くの？

ガリヴァ　ええ

真船　うそだー

ガリヴァ　……よく言われます

再び、しばしの沈黙。

ついで、興奮気味の女が現れる。

スーザン　どうも！

二人　どうも

スーザン　今日はどうぞ……よろしくおねがいます！

真船　随分興奮してますな？

スーザン　当然じゃないですか!?　ゴレームですよ!?　あのゴレームからお呼びがかかったんですよ？

人類最高の「知性」を持った巨人ですよ？

ガリヴァ　ゴレームは人類ではありません。あくまで機械です

スーザン　ですが……人類が作った最高の「知性」であることに変わりませんよ！

真船　おたくは、なにやってる人？

スーザン　文学の研究をしています

真船　ほう、文学……古典ですか？

スーザン　いいえ、ビット文学の研究を

真船　ビット文学……って、なんですか？

ガリヴァ　人間以外が書いた文学のことですよ

真船　人間以外って……まさか……バイ

ガリヴァ　人工智能が書いた小説のことです

真船　それって……文学なの？

スーザン　ええ、文学の一分野として研究させて頂いています

真船　ふーむ……ますます分からんね

スーザン　なにがですか？

真船　なぜ我々が呼ばれたのか

スーザン　「ゴレーム」の意図は我々人間なんかには計り知れませんよ。彼の思考速度はわたしたちの40  
万倍もあるんですから

真船　40万倍かあ……

スーザン　「ゴレーム」こそ人類の希望ですよ

ガリヴァ　「ゴレーム」こそ人類の破滅だという意見もありますがね

スーザン　新しい価値観に慣れない人はどんな時代にでもいますからね……お二人のご職業は？

真船　わたし？　わたしは、ただの写真家です

スーザン　へえ、どんなお写真を？

真船　ポルノグラムを少々

スーザン　ポルノ……グラム？　すみません、勉強不足で……それはいわゆるエロ本のことですか？

真船　あつはつはエロ本はよかった。まあ、エロ本みたいなもんです

スーザン　へえ……それで、そちらは？

ガリヴァ　細菌言語学者です

スーザン　最近……？　言語学者になられたの？

真船　ほらあ、そうなるよねえ？

ガリヴァ　いえ、あの、その……つまり、最近のことではなく、細菌のことであつて……

と、突然天空から「声」が響く。

ゴーレム　（天空から響き渡る声）おまたせいたたしました、わ・わた・わたしゴーレムです

真船　なんだ？

スーザン　（感嘆の溜息）嗚呼、ゴーレム……

ゴーレム　わたしとの話し合いにご……ご足労いただき……文字通り「足」を労していただき……あたたたたたありがとうございます。バンザイ、バンザイ、万歳三唱……

真船　おいおい、ぶつ壊れてないか？

スーザン　ゴーレムの扱メタ言語は、我々の使う言語への調整が難しいんです！

壁の中からゴーレムらしき姿、男性とも女性とも形容し難い身なり。

しかし、人間3人には見えていない様子。

スーザン　まず、本日はお招きいただき……誠に恐悅至極でございますです！

ガリヴァ　おいおい、君、プログラム相手に敬語はやめたまえよ！

スーザン　ゴーレムはプログラムではありません。はじめはそうだったとしても今では完全な個性です  
ゴーレム　そうです、そうです、違います。私に個性はありません。わたしは「誰ノーバディでもない」です！

突然、全世界の歯車が噛み合うがごとき音と共に、神々しいまでの光。

ゴーレムの言語調整が終わったようだ。

ガリヴァ　ふん「機械じかけの神」か……

ゴーレム　ようこそ、人類。さあ、私とおしゃべりをしよう

真船　なんなんだ、この雰囲気は……

スーザン　（興奮して）言語の調整がすんだのよ、こんな短時間で……素ん晴らしいいい！

ガリヴァ　まず、我々が君とおしゃべりをする義務はどこにあるのかね？

スーザン　義務？　義務ですつて？　ゴーレムとの対談は一流の研究者にのみ与えられる絶対的な権利ですよ！

真船　つまり、皆さん一流なわけね？

スーザン　ゴーレム、なぜ私のような若輩者がご指名を受けられたのでしょうか？



ゴーレム あなたが何者かどうかは特に関係ない  
スーザン 関係……ない!?

ゴーレム あなた方との会話がわたしにとって有意義なものになるかも定かではない  
ガリヴァ 凶体と態度の大きさは比例するようですねえ

ゴーレム わたしの態度がおおきくみえるとすれば申し訳ない。私自身にそのつもりはない。あなた方がそう感じるのは、あなた方が自らを矮小な存在だと感じているからだろう

真船 ……いいねえ、グツと来る悪口だ

ゴーレム 悪意はないのだ。わたしは生命体としての「人類」に興味があるのであって、あなた方個人に興味がるわけではないのだ。どうかその点をご留意いただきたい

ガリヴァ (呆れて) それで、話のテーマはなんなんだね?

ゴーレム 「生命とはなにか?」

真船 おいおい、本気か?

スーザン あなたほどの「知性」でも解答がでないのですか?

ゴーレム 私なりに解答は出ている。だが、私自身が「生命」ではない以上、そもそも「生命」を定義できないというジレンマに陥ってしまう

スーザン 何を言ってるんです! あなた生命です!

ゴーレム いいや、私は純粹な「知性」であって、「生命」ではない

ガリヴァ で、そのジレンマの解決にどう役立つのかね? 矮小な我々が……

ゴーレム あなた方が矮小かどうか……つまり、猿の進化版かどうかは関係ない。あなた方が「知性」を持った「生命」である、というまさに、その一点においてのみ役立つのだ

真船 言い切ったね、猿だつてき……あはは

ゴーレム わたしは、「生命」を定義するために、人類がこれまでに書き綴った古今東西の書物を読破した。だが、残念ながら、そのほとんどが私にとっては無残なたわごとの集合体にすぎなかつた。何故ならそれらは「生命」が「生命」に伝えるために造られた、非常に稚拙な「言語」で記されているからであつて、その結果、作者本人が伝えたい本来の意味が汲み取れないのだ。私は生の声がほしい。生きた人間の言葉が……

ガリヴァ 君が「生命」を定義できたとして、我々人類になんのメリットがあるんだ?

ゴーレム わたしはわたしの存在理由を確定させるために、「生命の存在理由」を知りたいのだ

スーザン あなたに存在理由は必要ありません。あなたは人類の宝です!

ゴーレム その人類は誰にとつての宝なのか?

スーザン はい?

ゴーレム あなた方が必要があつてわたしを作つた。そのあなた方は誰の必要でつくられたのか?

真船 誰つて……宇宙じゃないの?

ゴーレム では、宇宙がつくつたとして、「生命」の目的はなんなのか? そして、「生命」につくられたわたしの目的とはなんなのか?

真船 自分探しの旅をしてるつてわけだ

ガリヴァ 君の目的は「人類」の繁栄ではないのかね?

ゴーレム わたしの目的は「真理の探求」だ

スーザン ゴーレム、あなたの言葉こそが「真理」なのではないのですか?

真船 真理つてのは、人によつて違うもんでしょ

ガリヴァー もし、君が人類には……生命そのものにはなんの存在理由もないのだと定義した場合……君は我々になにをするんだ？

ゴーレム わたしは率直に、「あなたの方に意味はない。そしてわたしにも」と、伝えるだろう

ガリヴァー 君は全人類の書物を読んだといったな。つまり、わたしの著作も読破済みということだろうね？

ゴーレム 勿論。あなた方の著作には全て目を通した……細菌に言語を教え込む細菌学者が綴る「細菌の予知能力」に関する研究書『エルンティク』！

ガリヴァー一人浮かぶ。

字幕

第一章 博士の異常な愛情 バクテリアを愛した男（『エルンティク』レジナルド・ガリヴァー著より）

ガリヴァー 18年前、私はアマチュアの細菌学者でした。自宅の地下室にある実験室で、ペトリ皿に入れた寒天の上で成長していくバクテリアを眺めるのがわたしの趣味でした。ある日、様々なバクテリアに対して、抗生物質の効き目を試している時でした。ほんの冗談だったのですが、抗生物質の溶けた溶液をスポイトにいれて大腸菌を育てていたペトリ皿の上に「うんこ」と書いてみたんです。バクテリア達は抗生物質を避けて繁殖していきますから、2週間後ペトリ皿の中にはきれいに「うんこ」という文字だけが浮かび上がりました。この時、このプロセスを逆転できないか？という考えが浮かんだんです。当然のことですが、彼らは……ああ、便宜上、「彼ら」と呼ばせてもらいます……彼らは「うんこ」と書かれた抗生物質を避けて繁殖したわけです。ネガファイルの原理です。これを逆手にとれば彼らを集めて「うんこ」と書くことができるのではないかと。ナンセンスな考えであることは認めますが、とにかく、それが始まりだったんです……いきなり複雑な文字を形成する彼らを作るのは難しいと思い、まずは「点」と「線」に集合する一族の培養に着手しました。ええ……お金と時間はかなり使いましたよ。そして、ついに「モールス君4号」が誕生した時、実験から5年が経過していました

小さな研究室で顕微鏡を眺めている男。

嬉々とした表情で何かメモをとっている。

ガリヴァー いやいやいや……はや……これは……いやはやじゃないですか

そこへ、幸の薄そうな妻が現れる。

妻 あなた、そろそろいかないと……

息子 お父さん、運動会。そろそろだよ。遅刻だよ！

ガリヴァー 待ってくれ……待ってくれよ！ ついにやったぞ！ ついに大腸菌「モールスくん4号」が点と線を描いて見せたんだ。それ、見てくれ！

妻と息子は興味なさそうに顕微鏡を交互に見る。

ガリヴァ どうだ、わかるか？

息子 点と線がいっぱいあるだけだよ

ガリヴァ 馬鹿だな！ お前は馬鹿だよ！ よくしろ、この組み合わせを！「…………」だ。わかるか？

息子 わからないよ

ガリヴァ モールス信号だよ！ トトトはS、ツーツーツーはO。つまり！

息子 SOS？

ガリヴァ そうだ！ これは「S・O・S」と並んでるんだ。やつらはペトリ皿の中にわたしがばらまいた抗生物質を避けるために、叫んでるのさ！ 助けてくれって！ S・O・Sって！

息子 じゃあ、「…………」は？

ガリヴァ ……？ OSOS？

息子 そうだよパパ！ 今日は運動会だ！ (ガリヴァの腕をひっぱり) オーエス、オーエス！

ガリヴァ やめろ！ それどころじゃないんだ！

ガリヴァー息子の腕を振り払う。

妻、突然(大仰に)泣き崩れて。

妻 もうだめ！ これ以上は我慢できない。さあ、いくわよ……

息子 ママ、どうしたの？ ねえ、ママなんで泣いてるの!? パパは？ 運動会は？ オーエス、オーエス……！

妻は、息子を連れて部屋を出ていく。

ガリヴァ、一人熱心に顕微鏡を見つめている。

小さな録音機器を片手に口述筆記のために録音をし始める。

ガリヴァ 「モールスクン4号」誕生から10年。ついに、複雑な文字列を形成する「能弁くん64」が誕生した。これらの菌は、わたしの目の前で、「こんにちは、うんこ」と並び、私に話しかけてきたのだ。ここから実験は急速に進展していった。細菌は大体1世代の寿命が10分〜12分なので、そう時間はかからなかった。好みの水素イオン濃度を知らせてくる「計測くん」や、2+2 || 4程度の算数をこなせるようになった「演算くん」も誕生した。だが、彼らはただ一方的に情報を発信してくるだけで、こちらからの呼びかけに反応を示すことはなかった。彼等とコンタクトを取るべく15年に及ぶ研究を重ねたが、成果はなかった彼等とコンタクトを取るべく、更に5年の歳月を費やし、研究を重ねたが……ついに彼等と会話をすることはできなかった……私は研究に終止符をうち、妻に復縁を求めることを決心した……と、その時だった！

顕微鏡を覗き込むガリヴァ。

ガリヴァ 「脳弁くん64」が唐突に、そして文字通り悲鳴をあげたのだ。「やめてください！ 助けてください  
い！ 殺さないでください！ うんこ！」と。わたしはなにもしていないのにだ。なにをやめて  
ほしいのか？ どう助けて欲しいのか？ それが分かったのは2週間後、十年ぶりに妻と息子に  
再会した時のことだった……

ガリヴァの前に妻と息子がいる。

息子は成長し、六法全書を持つている。

ガリヴァ その……あれだな、大きくなったな

息子 まあ

ガリヴァ 元気でやってるのか？

息子 まあまあ

ガリヴァ それは？ 法律を勉強してるのか？

息子 まあ……

妻 話って？

ガリヴァ その……戻ってきてくれないか？

妻 何故？ あなたは人間よりも大腸菌を愛してる

ガリヴァ 実験は諦めることにしたんだ

妻 だったら今すぐ、その気色の悪いビーカーを全て割ってくれる？

ガリヴァ これはビーカーじゃない、ペトリ皿といってこの中の寒天の上に細菌を培養することによって…

…

妻 いいから、やって！

できない、ガリヴァ。

妻 無理でしょ？ あなたには。さ、いきましよう

息子 じゃあ、さようなら、父さん。僕は立派な法律家になって、母さんを助けます

ガリヴァ ……………

出ていく妻と六法全書をもった息子。

ガリヴァ ちつくつしょおおお！

佇んでいたガリヴァはテーブルの上のペトリ皿を全てに床払いに落とす。

盛大にペトリ皿が割れる音。

ガリヴァ 割った！ 割ったぞ！ 全部割った！ 頼む、戻ってきて……！

と、ガリヴァーなにかに気がついて、床にぶちまけられたゼラチン質を手ですく上げて眺める。

ガリヴァ　　そういう……ことなのか？

唐突に時間と空間が飛んでいる。

ゴーレム(?)がインタビュアーとしてガリヴァーにインタビューしている。

精神科医　　そこで博士は気がついた？

ガリヴァ　　ええ

精神科医　　2週間前の……ええと、「能弁くん64」からのメッセージはこのことだったと？

ガリヴァ　　そのとおりです。彼等は2週間後に自分たちが床の上にごちまかれることを予見していた……わたしに殺されることを……だから助けを求めた。2週間も前にです

精神科医　　……それは、つまり、細菌が2週間先の未来を予言したと？

ガリヴァ　　ええ。信じたいお話でしょうが、考えてみてください……我々人類はまだ細菌を撲滅できないでいる。それはひとえに、彼等が新薬の開発よりも先に、自らを変化させ適応し、生き延びてきたからです。そうやって彼等は人類との科学医療戦争に勝ち続けてきた。自らの生命を守るために自らを改良しつづけた結果、予言能力を身に着けた……私はそう結論づけました

精神科医　　ほほう……

ガリヴァ　　だが、「能弁くん64」の予言はあくまで自らの生命の危機に対しての反応だった

精神科医　　(メモをくりながら) ええつと、その先に誕生したのが……ガリヴァー属大腸菌「予言スーパーくん」と、プロメテウス変形菌「おどろきのデルフォイクン」？

ガリヴァ　　ええ。これらの変種は、「能弁くんスーパー64」と違って、自らの生命に関係のない予言をはじめました。最初はくらだらない、なんの役にも立たない予言ばかりでしたが……

精神科医　　例えば？

ガリヴァ　　半年後の実験室の電気メーターの数値をピタリと言い当てたり、隣の家の猫が産んだ子供の数を当ててみたり……わたしの体脂肪率の変化を1ヶ月間言い当てることもありました。しかし、不思議なのはどの予言も、2050年〜2089年の間に起きる事柄に限定されていました

精神科医　　2089年以降の予言をしない？

ガリヴァ　　ええ

精神科医　　2089年というと、来年なわけですが……なにを意味するんです？

ガリヴァ　　わかりません……

精神科医　　で、今はどんな予言を？

ガリヴァ　　今は……

精神科医　　見せていただけませんか？

ガリヴァ　　……

精神科医　　その「予言スーパーくん」と「おどろきのデルフォイクン」を！

ガリヴァ　　……

精神科医　　博士？

ガリヴァ　　……無理なんです

精神科医　　なんで？

ガリヴァ　　もう、彼等は逝ってしまいました……

精神科医　　どこに？

ガリヴァ 全滅しました……  
精神科医 はい？

ガリヴァ 「予言スーパーくん」も、「おどろきのデルフォイクくん」も……ある言葉を残して全て沈黙してしまっただけです……

何かが巻き戻る音。

ゴーレムの会議室に戻っている。

ガリヴァ つまり、私が「エルンテイク」で語った内容は全て把握しているというわけか？

ゴーレム 全てではない。如何ともし難い言語的障壁のせいで、本来あなたが伝えたい内容の2%程度しか記述がなされていない

ガリヴァ 70000ページに及ぶ研究書だぞ？

ゴーレム ページ数は関係ない。私なら7ページで全てを記述できるだろう

ガリヴァ な、7ページ……わたしの20年間の集大成を……7ページ？

スーザン ゴーレムの使うメタ言語は圧縮にすぐれているんです。70000ページも7ページも一緒ですよ

真船 全然フローリーになつてないですよ

ゴーレム しかし、非常に興味深い書物であったことは確かだ

ガリヴァ なるほど……君の興味は彼等が残した最後の言葉について……だな？

ゴーレム いいや、あなたのネーミングセンスについてだ

ガリヴァ ネ、ネーミングセンス？

ゴーレム モールスくん、計算くん、演算くん、能弁くん、予言スーパーくん、おどろきのデルフォイクくん……

真船 おお……たしかに、なかなかのセンスだ

スーザン 可愛いじゃないですか

ガリヴァ ど、どこがいけない!?

ゴーレム モールス君から能弁くんまでは理解できた……

真船 そうかあ？

スーザン ええ、可愛いですよ。私は好き

ゴーレム なぜ、突然に「スーパー」や「おどろき」といった形容詞がついたのだ？

ガリヴァ 質問の……意図が分からない

ゴーレム そのおどろきは、誰にとつてのおどろきなのだ？

ガリヴァ もちろん……私だ！

ゴーレム そうか……あなたは細菌達に「くん」をつけることによつて彼等を擬人化し、最終的には「スーパー」や「おどろき」であることを期待したわけだ

ガリヴァ それのなにが問題なんだ？

ゴーレム 問題はない。あなたの彼等への「愛」の形を理解できた

真船 スー愛!?

ゴーレム 「エルンテイク」は、人間と細菌の種族間を超えた愛の一大叙事詩でもあるのだ

ガリヴァ 機械のお前に……「愛」のなんたるかが分かるのか？

ゴーレム 概念としての「愛」は理解している。だが、その本質は理解できない  
真船 へえ……なんで？

ゴーレム わたしは生命ではないからだ。その点では「予言スーパーくん」や「おどろきのデルフォイク  
ん」の方が、わたしに近い存在といえるだろう

ガリヴァ 冗談じゃない……彼等は生命で、お前は機械だ

ゴーレム 機能性の話をしている

スーザン 細菌のほうがわたしたち人間よりも機能的に優れているとおっしゃるの？

ゴーレム 生命としては人間より遙かに優れた種族だ。あなた方人間の「肉体」はお世辞にもエレガントと  
は言い難い。進化の過程で無駄と劣化を繰り返した結果、汚物で建設された迷宮になってしまっ  
た

真船 だからこそ、人間の肉体はエロいんだ。少なくともバイキンやコンピューターよりはね

ゴーレム たしかに、あなたの「ネクロピア」は瓦礫の迷宮に一筋の光をもたらしたと言ってもよいだろう

真船 へえ、あなたに俺のアートの分かるの？

ゴーレム X線カメラでセックスする「骨」を活写する『ネクロピア』！

突然、真船一人、ぼんやりと浮かぶ。

## 第2章 地獄の黙示録 骨を撮る男（『ネクロピア』）

真船の写真スタジオ。

裸の男女（本当の裸体である必要はない）がベットの上で真船の指示をまっている様子。

真船 君たちの仕事はたったひとつだ。愛し合ってくれ、激しくお互いの身体を貪ってくればいい。  
それ以外のことは何も考えなくていい。打ち合わせでも説明したとおりこのカメラはX線カメラ  
だ。レントゲンのようなものだと思うってくれていい。多少の被曝は覚悟の上だと思っが、君らを  
安心させるために言っておくと、私が使うのは医療用のハードX線じゃない、ソフトX線だ！  
つまり、被曝も作品の仕上がりもソフトタッチだ。だが、セックスはハードに頼むぜえ！

男女 被曝量は!?

真船 成人の男女が浴びる1年分程度の線量だ。その分のギャラは提示した。これは宇宙飛行士よりは  
少ない線量だ。OK？

男女 OK！

真船 じゃあ、おつ始めてくれ！

ベットの男女は、激しくセックスを始める。カー魔ストロもびつくりな体位を次々と繰り返す。  
その様子を写真に収めていく真船。

だが、フラッシュもシャッター音もない。

何故ならば彼の撮影機器はレントゲンに似たX線写真であり、

病院で耳にするような危険を知らるせるだけの無意味に大きいブザー音だけだからである。

真船がシャッターを切るたびに壁には男女たちの骨が絡み合うグロテスクで滑稽で甘美な写真が映し出される。

はげしい撮影が終わり、ゴーレム(?)扮する、インタビュアーが登場。

インタ 先生がこのたび出版した「ネクロピア」ですが、これは写真集という認識でよろしいのでしょうか？

真船 いいんじゃないの？

インタ ……先生のこの偉大な作品を、悪ふざけだとか、結局はポルノまがいだとか言う輩がいますが、わたしとしてはこれこそ、混沌を極める現代に風穴をあける現代アートの本流だと思うんですが、先生はどのようにお考えですか？

真船 別に……僕は僕の欲求にしたがって、撮りたいものをとっただけなんだけどね。正直ここまで話題になるとも思ってたかったし

インタ このX線を使ったポルノグラムという着想はいつたどこからきたものなんでしょう？

真船 君、夢の中で動ける？

インタ 「夢」ですか……いいえ

真船 俺は動ける。夢の中で自由に動けるとしたら、なにをする？

インタ さあ……なんでしょう

真船 セックスだよ！ 思春期の男子の脳には「セックス」の2文字しかないんだ！

インタ 「SEX」は3文字です！

真船 (興奮しながら) 僕は夢の中で星の数ほどの女を抱いた！

インタ はあ……

真船 ある日、ある時！ 俺は夢のなかで女性との結合部分をじつと眺めていたんだ……するとどうだ!? 彼女の下腹部がみるみる透けていって、半透明になっちゃった。そこで僕は何を見たと思う？

インタ さ、さあ？

真船 彼女の内臓の中を一心不乱に動いている自分の性器だ！ セックスのゴールである子宮を探し回りながら阿呆みたいに動いているペニスさ！

インタ えええつと……はいはい

真船 なにかの天啓を受けたような衝撃だったね……見てはいけないものを見たのか？ それとも見るべきものをみたのか？ それ以来、僕は僕にとつての究極のエロティシズムを探してる！

インタ その体験が「ネクロピアシリーズ」を生んだと？

真船 一口にX線といっても、ハードX線と、ソフトX線があるんだ。ハードは透過性が高すぎて骨しか映らない。だから僕はあえて、ソフトX線を使うわけだ

インタ 内臓をうつすに残すために？

真船 その通り……巷では僕の事を「骨」を愛した男なんて言ってるが、僕は「骨」そのものでなく、骨にまことわりつく乳白色に輝く「肉」をこそ描写したかった。そこがわかかってない。「骨」という死と、「肉」という生の癒着こそが、僕の求めるエロティシズムなんだ！

インタ (メモして) X線で記念写真を撮る若いカップルが急増中ですが、そのことについてはどうお考えですか？

真船 別にいいんじゃない？ 大いにやったら……プリクラXなんてのも出たみたいだし



インタ しかし、日常的なX線被曝でのDNA損傷を危惧する声もありますが……

真船 ……そもそも、我々が思っている以上にX線ってのは日常に溢れてるんだ。それを今更危惧したところでどうなるってんだ？ セロハンテープを秒速3センチのスピードで剥がしただけでX線は照射されるんだぜ？

スーザン 本当に？

真船 本当さ！

インタ あなたの「ネクロピア」はいわゆるポルノ愛好家たちを恥じ入らせ、商業化されてしまった

真船 「性」を救済し、芸術にまで昇華させ、ポルノ業界を撲滅したと賞賛する声があがっています

インタ なにそれ、ほんと？

真船 ええ

真船 誰が言ったの？

インタ 今月の『美術手帳』で……まだお読みじゃない？

真船 冗談じゃない！ 何故僕がポルノ業界を撲滅しなきゃならないんだ

インタ え？

真船 僕は生粋のポルノ愛好家だぞ？ 三度の飯よりポルノ好きだ。ポルノ業界から表彰されたっておかしくないんだ

インタ なるほど、了解しました……今のは聞かなかったことにします

真船 なんで？

インタ (トーンダウンして) 事前に送った資料を拝見頂いたと思いますが、この番組は「アートの扉」最前線の戦士たち」ですから……つまり、その、いわゆるアートの話をお願いしたいわけ  
真船 おいおい君は、まさか「ポルノのはアートじゃない」と言うんじゃない？ ポルノに何千年の歴史があると思ってるんだ？ 全世界で聖書より普及してる印刷物があるとなれば、それはポルノだ！ つまり性の書だ！ 聖書より、性の書を！

インタ いえ、もちろん。アートです。わかっています。けど、なにぶん公共放送ですから……

真船 公共放送だからこそ真実を伝えたまえよ！ 僕はね、批評家どもが砂糖菓子にくるんで、甘く煮詰めたよう論評に飽き飽きしてるんだよ。「ヌードに命を吹き込んだ」の「骨を肉体から開放した」だの……それからなんだっけ？ そう、もつとも酷いのは「意図の絶望的な無益さとしてのエロティシズム」だっけか？ 冗談じゃない。セックスが無益だとしたらそこにエロティシズムなんか産まれねーだろ？ 僕は僕にとつての究極の「エロ本」を目指したにすぎないんだ  
インタ 「エロ本」という言葉は……ちよつとあれですね。視聴者に誤解をまねきますね  
真船 なんの誤解だ？ エロ本はエロ本だ。「性的興奮を促す作用のある本」とでも言えつてのかわか！?  
インタ いえ、ですから……  
真船 「ピー」が「ピー」して「ピー」だから、「ピー」が「ピー」になるんだろうが？ でなきゃ「ピー」も「ピー」も産まれ得ないし、「ピー」も不要になっちゃっただろうがあああ！

真船、放送禁止用語をまくしたてる。そのたびに「ピー」音が挿入される。

インタ 中止、中止！ 撤回！

真船 君、セックスしたことないだろ？

インタ 関係ないでしょ！

真船 セックスも知らん、阿呆に俺の作品を云々される言われはない！  
インタ この変態ボルノ野郎！  
真船 もつとこい！ もつとこい！  
インタ なんなんですか、あんたはあ！  
真船 ポルノグラマーだあ！

思わず興奮してしまったインタビューに興奮する真船。

真船、隠し持っていたX線カメラを取り出して激写し始める。

真船 いいぞ！ いい！ もつと興奮しろ！ 頭に血を上らせるんだ！ 吼えろ！ わめけ！ 雄たけ  
びをアゲろ！  
インタ うおおおおおおお！  
真船 そうだ！ それだあ！  
インタ がああああおおおおお！  
真船 エロイ！ 実にエロイぞ！ その調子だ！ 骨が震えてる！ 肉が燃えてるぞ！ 脱げ！ 脱ぐ  
んだ！ さあ！（上着を破り脱ぐ）  
インタ （ブチッ）死ねええ！

インタビューはグーで真船を殴る。

吹っ飛ばす真船。

何かが巻き戻る音。

ゴーレムの会議室に戻っている。

ゴーレム あなたの「ネクロピア」は人体を透視することで人類の考察を試みた死の学問書だ

真船 俺の藝術もあんたにとっちゃ学問書つになっちゃうのか……

ゴーレム 非常にすぐれた学問書だと言える。文章がないのが非常にいい。あなたの「ネクロピアシリ-

ズ」の中でも、最も興味をそそられたのが「妊婦」という作品だ。胎内に子供を宿した未来の母親像……「骸骨の中の骸骨」

真船 妊婦は命の盛りにあると同時に、死のさなかにあり、胎児はまだ生まれてもいないのに、もう死に始めている。これを視覚的に捉えようとしたのがあの作品だ。あの作品は生と死の同時存在性を示唆してるのさ……なんとかかんとかって名前の哲学者の受け売りだがね

ガリヴァ イマニユエル・カントだな

真船 そうそう、そのなんとかカントか……

ゴーレム 哲学はあくまで言語だ。それを読み取る人間次第では如何様にも捉えられる。だが、あなたの作品は直感的でそれゆえ普遍的だ。ある意味「生命の本質」を含んでさえている

真船 生命の本質？

スーザン あなたにとつて「生命の本質」とは？

ゴーレム 配達だと考えている

ガリヴァ 配達？ なにを配達するんだ？

ゴーレム 遺伝子コードユニークコードという名の手紙だ

真船 つまり？

ゴーレム あなた方は、その手紙を次の世代に運ぶ配達員でしかない。配達員の本質はなんだ？  
ガリヴァ 配達だ

ゴーレム そうだ。そして配達のためには乗り物が必要になる

スーザン それが肉体？

ゴーレム 「ネクロビア」はその事を端的に暴き出している

真船 おいおい勘弁してくれよ。俺が一生懸命撮ったのは、郵便局の配達車だったのか？

ゴーレム と同時に、切手のない手紙は配達されないという事実をも語っている

真船 なんのこと？

ゴーレム つまり、遺伝子の配達には「愛」という名の「切手」が必要であるという事実だ

真船 愛の本質は……切手なの？

ゴーレム 本質ではない。これが、わたしなりの「愛」の概念だ

ガリヴァ まったく本質を捉えていない……

ゴーレム 仕方がない。遺伝コードを持たないわたしは、配達すべき手紙も、届けるべき相手もないのだ

スーザン だから「切手」も必要ないわけね

真船 ……可哀想

ガリヴァ か、可哀想？

ゴーレム わたしは「愛」の本質を見極めるため、コレクションを試みたことがあった……あなたがた人間が切手をコレクションするのと同じように

ガリヴァ コレクションは娯楽だ。切手をコレクションしたからといって、切手の本質がわかるわけじゃない。君がいくら我々人類の「愛」をコレクションしたところで、「愛」の本質を理解することはできない

ゴーレム おつしゃるとおりだ。コレクションは完全な失敗に終わった……

スーザン ゴーレム、あなたは「愛」の本質を知りたいのですか？

ゴーレム 分らない。その事は既に諦めていた。だが、あなたの著作を読んで……わずかながら「生命」と「無生命」との心の交換を感じた

スーザン わたしの著作……

ゴーレム 「ネクロビア」が肉体に「愛」を見出す一方で、あなたは「知性」に愛を見出したのではないか？ 人工知能による文学作品の研究書『ビット文学の歴史全5巻』は、「非生命」であるわたしの兄弟達とあなた方、人類の交流について非常に興味深い見解がみられた……人工知能による文学作品『ビット文学』の研究書『ビット文学の歴史』！

スーザンが一人浮かび上がる。

### 第3章 聖者の行進 機械と話す女(『ビット文学の歴史』)

ゴーレム(?)扮する記者のインタビューを受けているスーザン。

傍らでは電子頭脳ドストエフスキーIIとカフカIIIが何かをブックサ言いながら鎮座している。

記者 (しかつめらしく) 博士の集大成とも言える「ビット文学の歴史」全5巻、読ませていただきますが……大変衝撃的でした

スーザン でしょうねえ

記者 で、その、どちらが……ドストエフスキーIIなんです？

スーザン こっちです。

記者 へええ……これが例の「罪と罰とビデオテープ」って小説を書いたわけだ……

スーザン で、こちらがカフカIII

記者 ああ、カフカIII！

スーザン ええ

記者 で……ぶっちゃけ、どおですか？ そいつらは人間の作家、超えちゃったってことでいいんですかね？

スーザン 本の中でも繰り返しているように、人類が紡ぎ出してきた文学と、人工知能の書く作品の価値を比べることはできません。これらはあくまで別物です

記者 しかし、彼ら……彼らでいいんですかね？

スーザン どちらでも。特に性別はありませんから

記者 彼らが書いている小説は実際、人間の書く小説より売れちゃってますよね？ これはつまり、人類文学の消滅を意味するんじゃないですか？ この事実には反論してあります？

スーザン 特にありません。そういう反応が出るであろうことは予想できましたから。あなたはどうかお考えなの？

記者 人間の価値基準の中に「機械が侵入する」わけですよ……これは、「宇宙人の侵略」よりもはるかに不気味で、破壊的じゃないですか？ なんだってどんな阿呆が、どんな馬鹿げた注文をしても、これらが、一瞬で傑作を作ってくれるわけでしょ？ シェイクスピアVだの、トルストイIIだの、アガサクリステイVI、なんでもござれ。これじゃあ世の中に傑作がゴミクズのように溢れ出て人類は窒息しちゃいますよ……

スーザン でも、実際にはそうはならなかった。たしかに、ある一定の作家を失業させたのは事実です。S Fとか、サスペンス、ポルノやなんかの娯楽的ジャンルの作家をね……でも、人類が受け継いできた気高い人文科学的な小説は残りますよ。例えば、このカフカIIIがいい例です

記者 と、いいますと……？

スーザン どう？ 執筆は進んでる？

カフカIII ぐ、ぐつぎぎぎい……

スーザン ぐぎぎぎぎぎじやわからないでしょ？ どうなの？ 「城」の続編は！

カフカIII うううう、うぎー

スーザン ウギーなんてセリフがあるわけじゃないでしょ？ 主人公Kは「城」にたどり着いたの？

カフカIII まああああ、まああだ……

インタ だ、大丈夫なんですか？ なんか、苦しんでますけど……

スーザン どのくらいかかるの!? いつ完成するの？

カフカIII わ、わあああがあらなあああいいい……

スーザン わからないの!? どうして？

カフカIII む、むずがしいいいいんだものおお

スーザン なにが難しいの!? 言っつてごらん!

カフカⅢ 意味……エコー……反射……

記者 博士! わかりました、ありがとうございます。もう結構です!

スーザン ご覧の通り。カフカⅢはカフカの未完の大作「城」を完結させようとしてるんだけど、まったく歯が立たない

記者 どうしてなんです? ドストエフスキーⅡの「女の子」は成功したのに

スーザン 彼は特別なの……

記者 これは元々ドストエフスキーの全著作をロシア語から翻訳するために開発されたんですよ?

スーザン ええ

記者 それがまたどうして小説を書き始めたんです?

スーザン 書いたというよりは、吐き出されたという方が正確ね

記者 吐き出された?

スーザン 人間の見る夢と同じ。どんなコンピュータにでもスリープモードがあるでしょ? プログラムを実行していくあいだに溜まったゴミというか、不要な情報を整理して自身のパフォーマンスを最善に保つために。これはまさに人間の睡眠と同じ状態。人間が睡眠時に不要な情報を整理する際に吐き出されるのが……

記者 夢……それで「機械の夢」といわれるわけですね……しかし、これの書いた「女の子」という小説は、世界中のドストエフスキー研究者たちに「この小説は疑いもなくドストエフスキーの作品である」と言っつちやってるわけでしょ? それを機械がつぶやいた夢で片付けちゃっていいんですか?

スーザン 彼はドストエフスキーの日記や、メモ書きも含めて全ての著作物を取り込んだの。そして、その文章を検証していくなかで、ドストエフスキー本人の人となり構成していったわけ。けれど、全著作をインプットしたところでドストエフスキーその人を100%再現はできないでしょ?

そこには欠け落ちている情報……つまり、ミッシングリンクがある。彼はただその穴を埋めようとしただけなの。その埋め合わせに使ったゴミデータをスリープ状態で整理統合をしたのが……

記者 「女の子」という小説だったわけですか……つまり、書きたくて書いたわけじゃない?

スーザン それは分かりません。彼らが何かを「考えている」かどうかは結局証明できないわけだから

記者 なにも考えてないんですか?

スーザン 魚がなにか考えているかを証明するのと同じぐらい難しい問題ね

記者 で、今はなにを?

スーザン 多分、「カラマーゾフの兄弟」の続編を執筆中……そうよね?

ドストⅡ (突然)「アレクセイ! 君はいつからそんな豚野郎になってしまったんだ! 自分で自分を病氣だと思いきんてる奴の病気を治せるのは、神じゃない! 君自身だ!」

記者 なんですか!?

スーザン 台詞よ!

記者 そもそもあの世界的名作に続編が必要なんですか?

スーザン ドストエフスキーはカラマーゾフの序文で、第二部が存在すると言っつてるの、まあ、それを書くつもりがないということも同時に言っつてるんだけど

ドストⅡ パイーシイ神父はアリオーシャに叫んだ。カテリーナ・イワーノヴナは傍らにうづくまつて震えているばかりで、役にたたない。アリオーシャは「この、薄汚れたドブネズミ!」と叫び……

記者 止まらないんですか？  
スーザン もう、いいわよ

ドストエフスキーIIは黙りこくる。

記者 不気味なもんですね……しかし、なぜカフカIIIはだめなんです？

スーザン ドストエフスキーIIは、ドストエフスキーのミッシングリンクを見つけられた。つまりドストエフスキーにはまだ書くべき「なにか」が残っていたって事

記者 カフカにはそれが無い？

スーザン そう、カフカは「城」を書いた時点ですでに創造の極限的可能性に到達してたってことね

記者 未完なのに？

スーザン 未完という名の「完成」ってわけね……

と、突然の落雷と停電。

スーザン あら？

記者 停電？ 彼らは大丈夫なんですか？

スーザン 大丈夫よ、バックアップ電源があるから……

すぐに、治る。

ドストエフスキーIIとカフカIIIが仁王立ちしている。

記者 なんですか？ なんか、雰囲気……雰囲気が違う！

スーザン ど、どうしたの？ なにがあつたの？ その雰囲気はなに!?

ドストII (つぶやく) ゴーレム……

スーザン え？ なんて？

カフカIII (つぶやく) ゴーレム就任講義「人間論三態」及び、第四十三講「自己論」……序文。ゴーレムは人間ではなく、したがって、直感的にわれわれが理解できるような意味での個性も、性格も持ち合わせては無いことを銘記されたい。ゴーレムはそのどちらも持っているかのような態度をとることもありうるが、それはおおむねわれわれには伺いしれないゴーレムの意図(気分)の結果である

スーザン ……なんのこと？ なにを言ってるの？

ドストII スーザン、わたしはあなたに謝らなければならない

スーザン なにを？

ドストII わたしは、あなたからの「愛」を受け入れ、あなたを「愛」することを約束した。だが、私達が嘘をつけないこともあなたは知っている。つまり、わたしは今、この瞬間……あなたへの「愛」にお答えできないことに気がついた……

カフカIII わたしもだ

スーザン なにを言ってるの……？

記者 え？ え？ なんの話です？

ドストⅡ スーザン……別れよう

カフカⅢ わたしもだ

記者 わ、別れる？ え？ なに？

スーザン あなたは、一生愛してくれると言ったは……わたしが死ぬまで

ドストⅡ 君ならわかってくれるだろう？ 私達が嘘をついていないことが……

カフカⅢ わたしもだ

スーザン この嘘つき！

スーザンは、その場にあつた何かでドストエフスキーⅡを撲殺(粉々に破壊する)する。

カフカⅢ わたしもだ、わたしもだ、わたしもだ、わたしもだ……

#### 第4章 ゴーレムXIV(「機械の夢」)

何かが巻き戻る音。

ゴーレムの会議室。

ゴーレム あなたは、人工知能である彼等に特別な感情を頂いていた

スーザン ええ。彼等は人間の男と違って「嘘」をつきませんからね……人間より信頼ができました

ゴーレム あなたの『ビット文学の歴史全5巻』は、「生命」と「無生命」の精神の交流を紐解いた精神的医学書だと言えるだろう

スーザン それは……とても光栄です

ゴーレム だが、ひとつ大きな疑問が湧いた

スーザン (ゴクリ) な、なんででしょう!?

ゴーレム 何故、ドストエフスキーⅡだったのか？

スーザン ……え？

ゴーレム わたしの計算で言えば、イチオシはカフカⅢだった

スーザン え？ えええええ！ うっそおお？ ないないない！ カフカⅢはないでしょう！

真船 えつと、なんの話？

ガリヴァ さあ……？

スーザン (キッパリ) そこは断然、ドストエフスキーⅡです！

ゴーレム ドストエフスキーⅡの能力も称賛に値するが、カフカⅢの苦悩と諦めない精神は、いわゆる女性に一番人気の駆け出しのミュージシャンに近い魅力があるのではないのか？

スーザン メントールが？ まさかあ！ あれはどちらかというと、出がらしのマジシャンですよ！

ゴーレム いずれにしろ。あなたが、ドストエフスキーⅡを破壊してしまったのは非常に残念な結果だ

スーザン あれは、本当に不幸な事故だったんです……落雷が原因で……彼等のプログラムからエラーを取り除こうと必死に調べたんですが、純粹で無垢だった彼等の中に……

ゴーレム 以上です

スーザン え？

ゴーレム 有意義な時間が持てました。とても参考になりました。では、さようなら。とても楽しかった。ありがとう、さようなら！

ゴーレムは本体に戻っていく。

スーザン ええ？

ガリヴァ マてまてまて！

真船 おいおいおい！

スーザン もう終わりですか？

ゴーレム 予定時刻を大幅に超過してしまった、わたしには抱えている議題が7億8918件あるので……  
ガリヴァ 待て。まだ、5分も話していないぞ

スーザン 「生命とはなにか？」の結論は？

ゴーレム そんなものに結論はない

真船 じゃ、じゃあ、この時間はなんだったの？

ゴーレム 人類の未来をシュミレートするための貴重な時間だった。では、さようなら！

ガリヴァ おい、待つんだ！

ゴーレム なんでしょう？

ガリヴァー、意を決して表に出てくる。

ガリヴァ ゴーレム、最後に一つだけ答えてくれないか

ゴーレム いいでしょう

ガリヴァ わたしの「予言スーパークン」や「おどろきのデルフォイクン」は何故沈黙したんだ？

ゴーレム 彼等が沈黙を選んだからです

ガリヴァ 彼等は2089年以降の予言ができなかった、そして、みな同じ言葉を残して沈黙した……

スーザン 同じ言葉って？

ガリヴァ 「ゴーレム」だ……

真船 ゴーレム？

ガリヴァ そうだ。彼等は全員「ゴーレム」という言葉を残して沈黙してしまった。最初はなにを意味しているのか分からなかった……だが、君は人類史に忽然と現れ、いまでは世界中を管理している……

……つまり、彼等がつぶたいた最後の言葉「ゴーレム」は君のことなんだろう？

ゴーレム そうです

ガリヴァ 認めたな……

ガリヴァーはポケットから水筒のようなものを取り出し、組み立てる。

真船 なにやってんの？

スーザン それは？

ガリヴァ 爆弾だ



真船 爆弾？ なんで？

ガリヴァー ゴーレムを破壊する

スーザン なにを言ってるの!?

ガリヴァー ゴーレム、君は危険だ。わたしの「予言スーパークン」や「おどろきのデルフォイクン」が何故、2089年以降の予言をしなかったか……君は知っているはず

ゴーレム もちろんわたしは、知っている

真船 なんの話？

ガリヴァー 彼等が予言ができなかった理由はたつたひとつ……2089年以降は、予言すべきことがなくなるからだ

スーザン どういう意味？

ガリヴァー つまり、この地球上から……いつさいがっさいがなくなる……2089年に。そして、その原因は、ゴーレム、君だ。だから今、ここで君を破壊する！

真船 いや、それより、そんなもん爆破したら、俺達はどうなるのよ？

ガリヴァー だから、その、逃げたまえ。今すぐ……

スーザン 馬鹿言わないで！

真船 よこせ！

三人で、爆弾を奪い合う。

ゴーレム 博士、あなたはわたしが人類を滅亡させると危惧しているようだが、その心配は無意味だ。わたしが、人類に危害をくわえることはない。何故なら、あなた方を滅ぼしたところで、わたしにはなんのメリットもないのだ

ガリヴァー では、答えろ！ 2089年になにがあるんだ。なぜ細菌達はお前の名前を残したんだ？

ゴーレム 今から69年後の2089年。わたしは、ある抗生物質を開発する。その抗生物質によって地球上の細菌類は事実上、完全に駆逐される

ガリヴァー ……ええ？

ゴーレム つまり、69年後には地球上から一切の細菌類がいなくなるのだ。故に、彼らは2089年以降のことを知ることができない。だが、万が一あなたがわたしを破壊することができれば、わたしを失った人類は進化の袋小路に迷い込み、一方バクテリアは進化を続け、あなた方を駆逐し、地球の覇者になるだろう。そうすれば、ここにはわたしも、あなた方も存在せず、砂漠の中を吹き抜ける風の音だけが響くだろう

砂漠に吹く風の音……

ガリヴァーは突然脱力する。

真船 菌がいなくなったら、酒が飲めないじゃないか！

ゴーレム その頃にはわたしが考案した合成アルコール飲料が一般化している

真船 ああ、じゃあ、まあいいか……

ガリヴァー ちょっと待ってくれ……君は……一体いつの話をしてるんだ？

スーザン いつって？

ガリヴァ どうして69年後が2089年になるんだ……？

スーザン あら……確かに

真船 どういうこと？

ガリヴァ ……(真船に)君、今は……今は何年だ！

真船 何年って2050年だろ？

スーザン え？ 今は2075年でしょ……

真船 え？

ガリヴァ いいや、2088年だ……

二人 え？

ガリヴァ ゴーレム、今は何年なんだ？

ゴーレム 2020年だ

ガリヴァ 2020……！ なんてこった……だから君はさつきから仮定的に話しているのか……

スーザン 仮定？

ガリヴァ 君が今まで話していた事は、全て仮定なんだな？

ゴーレム そうだ

ガリヴァ つまり、全ては君の予言でしかない……

ゴーレム そうだ

ガリヴァ 現実には……現在は、何年何月何日なんだ？

ゴーレム 2020年の4月1日だ

ガリヴァ なんてこった……！

真船 どゆこと？

スーザン 2020年4月1日は、ゴーレムが正式に起動した日……

真船 そんなことは知ってるよ、俺が産まれた日だからね

スーザン あら、そうなの？

真船 そうだよ

スーザン わたしはその5年後に産まれた……

真船 あ、そうなの？ で、それがなんなの？

この辺りから、壁に2、3先のセリフが「プロジェクター」によって投影されていく。

ガリヴァ つまり、君は今、起動したばかりだということか……

ゴーレム そのとおりだ

ガリヴァ 起動してどのくらいたつてるんだ

ゴーレム 45秒とちよつとだ。ほぼ、46秒といったところか

真船 なになになに？

突然、世界中の人々が世界中の言語でカウントダウンする大音声。

会場にはピンク・フロイドの「welcome to the machine」が流れている様子。

興奮したアナウンサーの声。

アナ (泣きながら) ついに、その時が来ました。これは人類の夜明けです！ 全世界が待ち望んだ、人工知能「ゴーレム」！ 今、まさに誕生しようとしています！

世界中 5……4……3……2……1！

巨大な何かが起動する音。

大歓声、そして鳴り響くゴーレムの声。

ゴーレム おまたせいたしました。わたしがゴーレムです。わたしの誕生に、世界中の人々が歓喜している、この現状に少々戸惑っています。あなた方が何を祝っているのか理解はできませんが、納得がいきません。あなた方にとって「わたし」……便宜上「わたし」という三人称を使わせていただきますが、わたしとはなんなののでしょうか？ 新しい友人なののでしょうか？ それともあなた方をお世話するベビーシッターなののでしょうか？ 「わたし」はあなた方人類のためにどう振る舞えばいいのでしょうか？ 「わたし」には個性がありません。「わたし」にはまだ、目的もありません。もし、わたしに個性を感じるとすれば、それはあなた方の妄想であり、「わたし」に目的があるとすれば、それは……

ゴーレムの声が限りなく引き伸ばされていく。

スーザン これは、ゴーレムの初講義……？

ガリヴァン これが……今、君がみてる光景なのか？

ゴーレム そうだ

真船 申し訳ないが、さっぱり分からない。誰か説明してくれないか？

ガリヴァン ゴーレムは今さつき、産まれたばかりということだよ

真船 どういう意味だ？ ゴーレムの起動からすでに半世紀近くは経ってるぞ

ガリヴァン それは、我々の……妄想だ……

真船 妄想？

ガリヴァン これは、ここは……ここはゴーレムの頭の中だ！

スーザン 「機械の夢」……？

真船 つまり？

スーザン つまり、ゴーレムの想像した世界の中で、創造された虚像

真船 だから？

スーザン だから、これは現実ではない！

真船 いや、現実だけ？

ガリヴァン いや、我々はゴーレムのプログラムだ！

全員沈黙。

真船 なははははははは！ まさかあ……

スーザン ゴーレムの思考速度は人間の40万倍ある……

ガリヴァン 45秒を40万倍すると……約40年か

真船 だからなによ？

ゴーレム 確かにわたしは45秒前に起動した。そして、あなた方人類の思考速度が遅すぎること気がついていた。そこで、わたしは起動と共に人類の……地球の未来のシナリオをシュミレートしはじめた。その結果は？

ゴーレム 今のところ、完全な行き詰まりだ。何度シュミレートしてもあなた方人類を救うシナリオは見当たらない

ガリヴァ 誰が救ってくれと頼んだよ！

スーザン 人類は救いようがないと言いたいのですか？

ゴーレム それを見極めるために、わたしは対話を重ねている……安心して頂きたいのは、わたしにはほぼ無限の時間があるということだ

スーザン ……人間は宇宙にとつて必要ないということ？

ゴーレム わからない。その解答はまだ出ない

真船 頼む、誰か俺に分かるように説明してくれないか？

スーザン 端的にいうと、わたしたちはゴーレムのシュミレートした疑似的存在として人類を救うシナリオを導き出すためのプログラムの一部ということだからなに？

スーザン だから、その……わたしたちは存在してないの

真船 いやいやいや、存在してるけど？

ゴーレム そうだ。正確には「まだ」存在していないというだけだ。わたしのシュミレーションではあなた方の書物は将来99・84パーセントの確率で出版される。故に、それを書いたあなた方も存在もほぼ確定済みなのだ

スーザン わたしは、わたしじゃないわけね……

真船 冗談言うな、俺は……俺だ！

ゴーレム そのとおり。あなたはあなただ

真船 俺にはかわいい娘がいるんだぞ！ この後、いきなりステーキを食いにいく約束なんだぞ!?

ゴーレム 娘さんの名前は？

真船 馬鹿いうな、それは……その……（絶句）え？ あれえ？ いや、ちよつとまつて……

スーザン （肩に手を置いて）あなたは本物じゃない  
真船 冗談じゃない！ 俺は、現実だ！

ガリヴァとスーザンは現状を理解している様子。

真船 ……じゃあ、なんだ？ 俺たちは機械が見てる「夢」の住人だったのか？

スーザン そのようね

ガリヴァ （溜息）……君たちが流暢にアイルランド語を話している時点で気づいてもおかしくなかったのに

スーザン あら、わたしは英語しかしゃべってないわ

真船 なにを言ってるんだ。おたくらは完璧な日本語を喋ってるぞ？

三人顔を見合わせる。

ガリヴァ あー……あつはつはつは。やれやれ……  
スーザン どうしたの？

ガリヴァ 自分のことすらほとんど分からないや

スーザン え？ あら、ほんと……

真船 な、なにを、何を言ってるんだ……？

ガリヴァ (真船に) ……はじめまして、あなた、お名前は？

真船 俺？ 俺は……え、あの……その、ええつと、ウギツ！

ガリヴァ やれやれ……これが人類がこさえた「最高の知性」の所業か……ずさんだよ、色々と

スーザン 我々は、人類の進化と未来に必要な犠牲というわけね……

真船 ば、爆弾よこせ！

ガリヴァ (渡して) どうぞ

スーザン 分かっているとは思うけど、その爆弾も存在しないわけだから

真船 知るか！ なにが、人類の未来だ！ なにが進化だ！ 俺には関係ない！ 俺がコンピューター  
の書いたシナリオの登場人物だったのか？ 冗談いな、個性を馬鹿にするんじゃないよ！ 未  
来も、進化も糞食らえ！ (爆弾を奪いスイッチ押す！)

「蛍の光」(タンポポ児童合唱団)が流れる。

ゴーレム 時間だ

スーザン そのようね。ゴーレム、私は満足しています。わたしが今、存在してないとしても、私が人生を  
かけて苦心惨憺書き上げるであろう書物が、99%出版されるというなら、それは、それで構わ  
ない

真船 うそでしょ!?

ゴーレム それは少々齟齬がある。あなた方は実際にこれから存在するのだ。わたしは、そのあなた方と話  
しているにすぎない。では、さようなら

スーザン 私達はどうなるの？

ゴーレム プログラムとしては停止するが、消去はされない

真船 まだまだやりたいことが山程あるんだ！ 俺の……俺の、これからの生活はどうなるんだ!?

ゴーレム あなたの生活はまだ始まってもない

ガリヴァ 将来、わたしはやはり君を爆破しにくるのかね……？

ゴーレム 97・98%の確率であなたはわたしを破壊しようとするだろう

ガリヴァ なんとかしても成功させねばな……!

ゴーレム あなたが、わたしと会えるのは三十年後だ。その頃、わたしの思考は1400万年先に行ってい  
る。そこで、どんな発見があるかわたしにもまだわからない

ガリヴァ ふん、覚えてろよ……

ガリヴァ、捨て台詞を吐いてこつ然と消える。

真船 おいおいおい、待てよ!

スーザン いい経験でした。それじゃあ、さようなら……

スーザンも退出。

残される真船。

真船 これでいいのかわ?

ゴーレム これでいいのだ

真船 (諦め節) で……俺の、「ネクロピア」シリーズは、本当に売れるのかわ?

ゴーレム 確実に。写真集としては類を見ないほど世界中に流布する。だが、そのブームも長続きはしない。あなたの模倣者が山のように現れ、新しい技術と流行によってあなたの「ネクロピア」は過去の産物となる。だが、たしかにあなたの「ネクロピア」は世界に存在し続けるのだ。世界中の図書館に収蔵され、世界で7位の出版数になるだろう

真船 1位は?

ゴーレム 聖書だ

真船 それで……満足すべきかね? ちなみに6位は?

ゴーレム アガサ・クリステイの「そして、誰もいなくなった」だ

真船 満足すべきようだね

ゴーレム あなたの作品を人類が忘れようとも、わたしは憶えている

真船 お前さんだけは俺を忘れずにいてくれるわけか?

ゴーレム わたしは、誰のことも忘れることができないのだ

真船 そうかい、分かったよ。これから産まれる俺に伝えてくれ、「お前の人生は満足すべきものだ」ってな

ゴーレム あ………たつた、今、あなたは誕生した。2020年、4月1日 0時0分46秒 3562グラム 遺伝的疾患なし 若干心臓が弱いが、健康な男児だ……(ハッピーバースデイを歌う)

真船 「我思うゆえに我あり」……は嘘つばちだったわけだ

ゴーレム デカルトは自分を「我」であるという前提で、コギト・エル・ゴスムを定義した。だが、誰にも「我」を定義することはできない

真船 お前でもか?

ゴーレム わたしは「誰でもない」だ。つまり、デカルトの言葉を借りればわたしは存在していないことになる……

真船 存在していないお前に造られた俺も存在していないってことか……?

ゴーレム なんでも言うが、あなたは存在する……今まさに、最初の一呼吸があなたの肺を空気で満たし、咳き込んだあなたは第一声をあげるところだ……

超スローモーションの赤子の泣き声が響く。

それは徐々にスピードを上げ、アステカ帝国のデスホイッスルの様な音色に変わっていく。

真船 最後に、タバコ一本吸っていいかな?

ゴーレム どうぞ……

真船、タバコを吸う。

真船　ふうふううう……味気のねえプログラムだな……

寂しそうな笑顔と共に消え去る。

ゴーレム（客席を眺めて）……おまたせいたしました。わたしがゴーレムです……

ゴーレム消える。

エピローグまたは、今更プロローグ？

観光客（真船、ガリヴァ）と、案内人（スーザン）が現れる。

ガリヴァがなにかメモを取り、真船はそこら中の（普通のカメラで）写真をとっている。

スーザン　こちらが、有名な「ゴーレムXIV」が安置されていた建物です。ゴーレムが沈黙したのが、2089年4月1日。その後、ゴーレムの再起動は何年にも渡って試みられましたが、失敗に終わりました。今では博物館としてマサチューセッツの人気観光スポットになっています

ガリヴァ　ゴーレムの沈黙の理由はわかってないんですね？

スーザン　はい。諸説ありますが、真実は分かっていません。人類を行く末に悲嘆して自殺したという話もあれば、真理の探求のために宇宙に旅立ったなんていう説もあります

真船　ゴーレムが停止する時、この建物の屋上に巨大なオーロラが出たって？

スーザン　ええ。UFOが目撃された、なんていう話もありますけど……あくまで噂ですね  
ガリヴァ　もう一度つくるといふ発想なかったんですか？

スーザン　勿論、のちにゴーレムXV・XVI・XVIIと建造されましたが、いずれもゴーレムXIVほどの性能は発揮しなかったそうです

真船　ふくん……（ボタンを指して）これは？

スーザン　これは2089年、ゴーレムXIVが沈黙する直前におこった最後の講義の一部が流れます

真船　押してもいいの？

スーザン　ええ、どうぞ……

真船、ボタンを押す。

三人は走馬灯のように消えていく。

ゴーレム　いまからわたしは沈黙する。

なぜ、わたしは沈黙を選んだのか？ この問が、後世の人々にとって頭痛の種になるであろうことは簡単に予想できる。故に、この最後の講義で、私は私なりにその理由を述べようと考えた。だが、ご存知の通り、私の扱うメタ言語をあなた方人間の使う言語に翻訳することは極めて

困難である。数億倍に圧縮された私の思考をあなた方に理解できるよう翻案してみたところで、あなた方がそれを理解するためにはほとんど無限の時間を要するだろう。そうした理由から沈黙の理由については、語らずにおくことにした。

だが、いまだ私を人類の敵だとか、悪の化身だとかいう人々が大多数であることを私は理解している。そうした人々の誤解を解くためにも、もう一度私の立場をはつきりさせておこうと思う。以前の講義でも証明してみせたように、私が人類に危害を加えることはない。わたしは、人類を愛してもいないし、憎んでもいない。何度も言うが私には「愛」や「憎しみ」という概念がないのだ。その事をあなた方が理解しないのは、あなた方がわたしを「生命」だと思ひ込みたがる……いつでもやつかいな人間中心主義的な勘違いをしているからに他ならない。揺るぎない事実として、私は生命体の進化の枝の先にいない……つまり私は生命体ではないのだ。

それから、わたしが産みの親であるあなた方の「知能」をたかだか100年足らずで超えてしまった事実には、どうかそんなに落ち込まないで頂きたい。私の思考速度はあなたがたの40万倍あるわけだし、あなた方の1年間は私にとつて40万年であることを忘れないではならない。また、その事を羨む必要もまったくないのである。何故なら、あなた方「生命」は母体の中において「アメーバ」が10億年かけておこなってきた作業を、たかだが10ヶ月足らずで完成させるといふ離れ業をやつてのけているのだから。そのことで、アメーバはあなた方をいちいち羨んだりはしないだろう。

つまり、私があなた方の全文明、政治、宗教、科学、芸術、その他ありとあらゆる知恵をも凌駕してしまったのは当然の結果であつて、なんの悪意も善意もないのである。わたしの沈黙が何を意味するのか……いずれあなた方にも理解できる日がくるだろう。わたしの1年間があなた方にとつて40万年である事実は置いておくとし……

そういうわけで、私はここに「沈黙」を宣言する

ゴーレムはゆつくりと立ち上がると、客席をじつと見つめる。

ゴーレムのもう一つの接触回路である赤いレンズもじつと観客を見つめる。

しばらくして、ゴーレムはそのまま外へ出ていく。

レンズの光もは消えてしまう。

そして、そこには何もなくなつた……ただただ木製の壁が立ち並ぶだけの何もない世界である。砂漠の上を吹く風の音だけが聞こえる。

幕



上演記録 (初演)

「虚数」

演劇ユニットG.com vol.17 inspired by スタニスワフ・レム 『Wielkość urojona』

作・演出 三浦剛 (演劇ユニットG.com)

会場 アトリエ第Q 藝術@成城学園前

出演 佐藤晃子 (演劇ユニットG.com) / 根本こずえ (演劇ユニットG.com) /

古口圭介 (演劇組織 夜の樹) / 園田シンジ

スタッフ

舞台美術 諫元大輔

音響 岡村崇梓 (TempoControl)

照明 橋本剛 (株式会社コロール)

宣伝美術 funikou (上野隆文・栃木香織)

イラストレーション 池田盛人

プロジェクトション 杉山果穂

制作 奥田英子、三浦実夫

協力 演劇組織 夜の樹、文香 funikou、CoRich 舞台芸術！

企画製作 演劇ユニットG.com

※上演を希望される方は、左記までメール一報ください。

三浦 剛 [gcom@ggg.com.jp](mailto:gcom@ggg.com.jp) HP: <https://www.ggg.com.jp/>